

高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況について

1 経緯

高齢化の進展とともに、救急搬送に占める高齢者の割合は増加しています。高齢者は、有病率が高い傾向にあり、内服薬の種類等も多いことから、救急搬送の際にはそれらの情報を確認する必要があり、救急搬送の一部に課題が生じています。

こうした諸課題を解決するためには、救急搬送側のみならず、要請側である介護施設等の関係機関との連携が不可欠です。

2 各地域での取組状況調査

令和2年度に実施した第7次三重県医療計画の中間見直しにおいて、数値目標に「地域で行われている多職種連携会議の開催回数」が追加されました。

令和6年3月末見込みの地域での取組状況を調査した結果は以下のとおりでした。引き続き、医療機関、消防機関および地域包括ケア関係者等の多職種による連携や情報共有を進めます。

<調査結果>

	① 参画している /行っている	② 参画する予定 /行う予定	③ 未定 その他
1. 地域包括ケアシステムやACPに関する議論の場に、消防機関が参画していますか。	14 市町 (±0)	0 市 (▲1)	15 市町 (▲1)
2. 地域 MC 協議会に、地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。	4 MC (+1)	1 MC (+1)	4 MC (▲2)
3. 消防機関や地域包括ケアシステム関係者などが参画する多職種連携会議で、高齢者の救急搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。	6 MC (▲1)	0 MC (±0)	3 MC (+1)

※ () 内は昨年度比の増減